

未来はあなたたちの手に

社会に出たときの

初心を忘れず

後援会会長 永山 正一



おいて、避けて通れない道であり、その道は多方向に向いています。どの道を選ぶかはいつでもあり、自分で決めなければなりません。皆さんより社会人経験を重ねてきた者として書かせていただきますと、「社会に出たときの、初心を忘れず」とは、思うに、大半の人はどうしても自分の立場(仕事)が誰より大変であると思いがちです。それは恐らく、物事に対して慣れを感じた時に、自身に甘えの気持ちが出てくるからではないでしょうか。皆さんには、社会人になって何年か経過し、慣れを感じられた時に、少しで

感謝できる大人に

校友会会長 古川 稔



皆さんはこれから、学生ではなく一人の社会人として世の中に出る事になります。社会に出れば、すべての事に「責任」という言葉がついてきます。それは人が成長する過程に

失敗を恐れるな

キャリアセンター長 田嶋 賢治



皆さんはこれから、学生ではなく一人の社会人として世の中に出る事になります。社会に出れば、すべての事に「責任」という言葉がついてきます。それは人が成長する過程に

皆さんはこれから、学生ではなく一人の社会人として世の中に出る事になります。社会に出れば、すべての事に「責任」という言葉がついてきます。それは人が成長する過程に

皆さんはこれから、学生ではなく一人の社会人として世の中に出る事になります。社会に出れば、すべての事に「責任」という言葉がついてきます。それは人が成長する過程に

皆さんはこれから、学生ではなく一人の社会人として世の中に出る事になります。社会に出れば、すべての事に「責任」という言葉がついてきます。それは人が成長する過程に

皆さんはこれから、学生ではなく一人の社会人として世の中に出る事になります。社会に出れば、すべての事に「責任」という言葉がついてきます。それは人が成長する過程に

皆さんはこれから、学生ではなく一人の社会人として世の中に出る事になります。社会に出れば、すべての事に「責任」という言葉がついてきます。それは人が成長する過程に

皆さんはこれから、学生ではなく一人の社会人として世の中に出る事になります。社会に出れば、すべての事に「責任」という言葉がついてきます。それは人が成長する過程に

皆さんはこれから、学生ではなく一人の社会人として世の中に出る事になります。社会に出れば、すべての事に「責任」という言葉がついてきます。それは人が成長する過程に

多くの人に気付かされ

文学部史学科 北井 涼子



これからどんな4年間になるのだろうかの不安と期待を抱きつつ、大学生になったという少し背伸びした気持ちで入学式を迎えた日のことを、つい最近のことのように思い出します。

4年間、勉強はもろろんのこと、アルバイトにサークル活動、友人との旅行など、さまざまなことがありましたが、あつという間に過ぎてしまいました。

奈良大学は、全国各地出身の学生がいるので、今まで知らなかったことを知ったり、自分の中の常識が覆されたり、年代の違う人との出会いで気付かされることも多かったです。多くの人との出会いの中で、自分も少しは成長出来たかなと思っています。

大学を卒業し、ゼミの発表で先生の鋭い指摘に何も答えられなくなることもしろ無いかと思うと、ホッとしますが、寂しくもなります。

大学で学んだこと、友人と過ごした



仲間と共に挑戦し続けた

社会学部心理学科 山口 佑香



大学生活を振り返ると、部活や体育会本部、講義やゼミなどで、あつという間に過ぎていったように感じます。中でも、一番チャレンジしたのは、サークル活動です。大学3年のインターンシップを終

え、大学にかかわることがしたい」と本部、講義やゼミなどで、あつという間に過ぎていったように感じます。中でも、一番チャレンジしたのは、サークル活動です。大学3年のインターンシップを終

え、大学にかかわることがしたい」と本部、講義やゼミなどで、あつという間に過ぎていったように感じます。中でも、一番チャレンジしたのは、サークル活動です。大学3年のインターンシップを終

え、大学にかかわることがしたい」と本部、講義やゼミなどで、あつという間に過ぎていったように感じます。中でも、一番チャレンジしたのは、サークル活動です。大学3年のインターンシップを終

え、大学にかかわることがしたい」と本部、講義やゼミなどで、あつという間に過ぎていったように感じます。中でも、一番チャレンジしたのは、サークル活動です。大学3年のインターンシップを終

え、大学にかかわることがしたい」と本部、講義やゼミなどで、あつという間に過ぎていったように感じます。中でも、一番チャレンジしたのは、サークル活動です。大学3年のインターンシップを終

え、大学にかかわることがしたい」と本部、講義やゼミなどで、あつという間に過ぎていったように感じます。中でも、一番チャレンジしたのは、サークル活動です。大学3年のインターンシップを終

え、大学にかかわることがしたい」と本部、講義やゼミなどで、あつという間に過ぎていったように感じます。中でも、一番チャレンジしたのは、サークル活動です。大学3年のインターンシップを終

え、大学にかかわることがしたい」と本部、講義やゼミなどで、あつという間に過ぎていったように感じます。中でも、一番チャレンジしたのは、サークル活動です。大学3年のインターンシップを終

え、大学にかかわることがしたい」と本部、講義やゼミなどで、あつという間に過ぎていったように感じます。中でも、一番チャレンジしたのは、サークル活動です。大学3年のインターンシップを終

ひたすら前を見て走りた

文学部地理学科 古川 太一



私にとっての4年間は、長かったようで短かった4年間であったと思います。地理の勉強は、私が想像していた以上に難しく、ついていくのがやっとでした。正直、高校まで野球しかしてこなかった

ので、大学生になって、こんなに苦勞するならもつと勉強しておけばよかった！と後悔した時もありました。

クラブ活動は、小学生の頃からずっと続けている硬式野球部に入りました。3回生の5月から1年間、主将もやらせていただきました。仲間を思う気持ち、野球に対しての取り組み方、日々の生活態度、すべてがこの1年で変わったように思います。いい経験をさせていただきました。

自分がここまで来られたのは、決して自分一人の力だけではありません。むしろ私一人では何も出来ません。周りの方々の支えがあったからこそ、ここまで来ることが出来ました。これからも感謝



ハンドボールを通じて成長

社会学部現代社会学科 大西 広真



4年間、大学生活を過ごして来て、一番に思い浮かぶのは、ハンドボール部に入部して充実した生活を送れた事です。高校から始めたハンドボールですが、最初は正直好きになれず、途中で投げ出しそうになったことや、迷惑をかけた時期もありました。しかし、大学に入学後

、先輩から誘いがあり、やはりハンドボール部に入部をし、先輩たちの教えや支えの中で、自分がだんだんハンドボールを好きになってきた実感が湧いてきました。4年間所属したハンドボール部では、いろいろな出来事がありました。先輩たちが卒業して人数が少人数になってしまった時は辛い思いもしました。しかし、その経験を乗り越え、続けてきた事で、自分の成長にも繋がったと思います。私は決して上手い方ではなかったのですが、チームが一つになって試合に勝った時の喜びは、一生忘れないと思います。卒業して、ハンドボールをする機会が減ってしまったのは残念ですが、社会人になっても続けたいと思っています。高校の頃は休んでばかりいた部活動ですが、今では引退しても続けたいと思えるものになりました！

最後に、今までにお世話になった先輩方や、ついてきてくれた後輩たちに感謝したいと思います。

最後に、今までにお世話になった先輩方や、ついてきてくれた後輩たちに感謝したいと思います。

最後に、今までにお世話になった先輩方や、ついてきてくれた後輩たちに感謝したいと思います。

最後に、今までにお世話になった先輩方や、ついてきてくれた後輩たちに感謝したいと思います。

最後に、今までにお世話になった先輩方や、ついてきてくれた後輩たちに感謝したいと思います。

最後に、今までにお世話になった先輩方や、ついてきてくれた後輩たちに感謝したいと思います。

